

社協の 福祉だより

第 87 号

2020.1

CONTENTS

- 琴の浦高等特別支援学校……………①
- 福祉議会……………②～③
- 令和元年度特別賛助会員紹介……………④～⑤
- 福祉検定フェスティバル……………⑥

謹賀
新年



明日に羽ばたけ!



福祉議会に参加した琴の浦高等特別支援学校の生徒

詳しくは2P・3Pをご覧ください。

みんなで支え合い、共に生きる福祉のまちづくり ～一人ひとりが輝くために～

編集・発行 社会福祉法人 琴浦町社会福祉協議会

本所：〒689-2352 琴浦町大字浦安123番地1 TEL 52-3600 FAX 53-2035

支所：〒689-2501 琴浦町大字赤碕1113番地1 TEL 55-1124 FAX 55-1137

URL(ホームページ) <http://www.kotoura-shakyo.jp>

Eメール 社会福祉協議会(代表) fukushi@kotoura-shakyo.jp ボランティアセンター vc@kotoura-shakyo.jp

「福祉だより」は皆様からいただいた会費で発行しています。



年頭のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、社会福祉協議会の各種事業の推進にご理解とご協力をいただき、深くお礼申し上げます。
令和2年が幸多き年になりますよう、ご祈念を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

福祉のまちを考える

昨年、11月25日に琴の浦高等特別支援学校の2年生の生徒と社協役員で、議会形式の意見交換を行いました。

今回、はじめて開催した福祉議会の目的は、生徒が福祉について考える機会と発言できる力を身に着け、卒業後の社会生活に役立つようにと、福祉教育の一環として実施しました。

学校で生徒に、福祉と聞いて思い浮かぶものはいったい何をしたらいいか、という質問をした時に、「助け合い」「ボランティア」とい

質問：今は学校から福祉に関する情報を得たり、相談を

しているが、社会人になればどこで福祉の情報を得たり、相談をしたらいいでしょうか。

う回答がありました。その回答を踏まえ、生徒に卒業後の社会生活アンケートをとりました。生徒たちは、そのアンケート結果を元に、具体的な質問内容を考え、発表しました。意見交換は議会形式とし、議長は社協の川上会長の進行のもとで開催しました。生徒からの質問と役員員の回答を一部掲載します。



準備した質問を発表

住みやすい町だと思いません。確かにバスやJRの本数については、少ないと思います。車の運転が困難な障がいのある人や、高齢者の人の交通手段の確保のため、これからの公共

私 会 議 社 福

回答：地域には民生

児童委員がおられますので、ご相談ください。その他にも色々な話を聞いていただ

ける傾聴ボランティアの人などがおられます。また、県が作成している「よりよい暮らしのために」という冊子からも情報を得ることができます。専門的なことについては、市町村の窓口にお問い合わせいただくと、よりわかりやすく説明をしてもらえます。



卒業後の生活に必要な事は？

質問：自分の住んでいる町がもっと良くなるためには、バスなどの公共交通機関の本数が少ない

ので、本数を増やして欲しいです。次に、観光客が少ないので、観光スポットを増やして、たくさんの人に来てもらったら良いと思っています。また、人口を増やして地域を活性化してほしいのですが、どのような取り組みが良いと思われますか。

回答：琴浦町はスーパーや病院、会社も多くあり、

みなさんからいただいた意見は、大変貴重な意見ばかりでした。様々な福祉の問題に、町民の皆様と共に、

交通機関のあり方について行政と助け合いの仕組みづくりを考えて行ければと思います。次に観光客を増やす方法ですが、琴浦町の商工観光課や観光協会も力を入れておられます。また地域活性化については、現役世代の若い人たちに移住していただき、琴浦町を盛り上げ、福祉を支えていただく取り組みが必要だと思います。若い人への情報発信はSNSを活用して、琴浦町の魅力を伝えることが大事ではないかと思えます。

その他の質問として、

「一人暮らしをしていく上で注意する事はどんなことですか？」

「地域で暮らしていく上で守らなければならないルールはどんなことですか？」

など、日常生活に関する質問をしていただきました。



生徒からの質問に対する回答

琴浦町社協は取り組んで行きます。

馬山定定杉 野根常常山	別宮 馬山馬山御	下三本 木三本杉	上三本 井垣	中津原 岩垣	野井倉 松本	平山倉山 岩本本下本本	福濱米米手米 田田田嶋田	大杉朝朝板朝 倉倉倉倉山	山板橫平朝 倉倉倉倉山	山渡門文松松 邊脇本本本	公松松 本本本	倉坂 友輝																															
京ま昭 進子み利正	栄久篤修 栄久篤修	準一郎 準一郎	幸隆子 幸隆子	幸枝 幸枝	萬亀子 萬亀子	必慧子 必慧子	隆義睦春忠 隆義睦春忠	三重幸直正聖 三重幸直正聖	武道英 武道英	敬誠道 敬誠道	雅京友 雅京友	京友輝 京友輝																															
(15口)																																											
仲之町 南	荒神町 大谷	南荒神町 大谷	三軒屋 大谷	港町 米村	龜崎町 布袋	朝日ヶ丘 林原	別所 赤碕町漁協	朝日町 田根	杉地 川本	下法万 小畑	前川 畑崎	上法万 横山	八反田 徳丸	池口 池口	池口 池口	米田 米田	宮場 宮場	矢下 本	永代 永代	古長 古長																							
正幸 正幸	浩勝二 浩勝二	良二 良二	順昇 順昇	修二 修二	英憲 英憲	信治 信治	祐子 祐子	博美 博美	成紀 成紀	憲惠 憲惠	宏昭博 宏昭博	國徳 國徳	友弘 友弘	弘一 弘一	洋昭 洋昭	昭彦 昭彦	正明 正明	英明 英明	弥寿子 弥寿子	寿男 寿男	(5口)																						
伊藤 満智子	山形 重喜	浦前 富男	赤碕 弘	岩田 弘	社会福祉法人 赤碕福祉会(自苑)	大谷 博文	紙山 武男	真山 美津子	岸本 俊彦	大谷 浩史	花見町 山内	宇田川 忠光	西村 仁良	田中 昌一	吉田 忠男	駅前通り 野間田	西地蔵町 区として納入	牧場 須美子	那須 和四郎	馬野 勇一郎	田中 健文	大山町 清隆	八幡町 網赤碕 オ一ト	井木 栄美子	井木 久博	福本 正博	地蔵町 塚孝美	高田 弘美	金本 喜八郎	西町 本	新仲町 曉美	西仲町 正人	本町 中	南好 みさ子	安美 美智子								
光 豊嶋	秦野 恵子	高塚 俊平	湯坂 義雄	松岡 和枝	山下 秀樹	真山 満智子	永上 喜美子	高塚 憲代	倉長 昭子	真山 昭彦	真山 邦彦	倉津 立雅	足立 淳子	太一垣 森田	森田 純子	下中村 野昇	上中村 賀昭	佐崎 信治	池賀 良子	石賀 京一	分乘寺 中	今在家 楠夫	澤田 若男	桜ヶ丘 森	出上6区 富士夫	出上5区 順一	出上4区 蓉子	出上2区 岸智子	岸上 本	南出上 本	扇町 田	則幸 則幸											
藤田 淳也	林原 真弓	山田 幸明	河上 裕和	佐伯 祐衛	川本 陽一	山根 伸一	農林水産課 高多	林多 真典	圓山 千嘉子	宇山 善子	中井 裕幸	難波 浩幸	藤原 真由美	村原 静香	藤原 美香	宮本 隆治	長尾 敏正	教育総務課 小倉	小倉 克美	前教育長 清治	田中 治	高須 弘	那須 剛	那須 正	池本 恭子	山橋 裕昌	大父 久雄	川実 珠恵	高崎 喜代江	御崎 耐子	大熊 上	井木 礼子	山根 君彦	赤碕金屋 悦子	竹内 昭一	石賀 一	尾張 本	大 豊					
谷岡 彦史	林原 裕和	河上 祐衛	佐伯 陽一	川本 陽一	山根 伸一	農林水産課 高多	林多 真典	圓山 千嘉子	宇山 善子	中井 裕幸	難波 浩幸	藤原 真由美	村原 静香	藤原 美香	宮本 隆治	長尾 敏正	教育総務課 小倉	小倉 克美	前教育長 清治	田中 治	高須 弘	那須 剛	那須 正	池本 恭子	山橋 裕昌	大父 久雄	川実 珠恵	高崎 喜代江	御崎 耐子	大熊 上	井木 礼子	山根 君彦	赤碕金屋 悦子	竹内 昭一	石賀 一	尾張 本	大 豊						
社協職員 8名	浦上 厚子	高山 可奈	山本 あづさ	ふなのえ 真由美	山本 麻紀	前田 直美	福本 博美	ことら 恵美	馬野 利恵	住吉 千鶴	岸本 ひろみ	山根 晴美	河本 さゆり	坂本 さゆり	中田 佐菜	浪花 美紀	櫻木 朋子	横川 恵子	しらとり 恵子	櫻井 佳穂	大場 紀恵	やばせ 明	浜川 陽子	子育て 富江	武尾 泰介	高尾 壯美	隠岐 真由	井谷 晃弘	大谷 淳己	榎田 美香	中山 利恵	山根 康弘	住吉 真由美	桑本 修司	企画政策課 中	井岡 英治	岡田 孝勝	鈴木 健	石賀 勝				

第1回 ことうら福祉検定フェスティバルを開催!

令和元年11月30日(土)、社会福祉センターで福祉検定フェスティバルを開催し、34名(小学1年生から70歳)が福祉体験と検定試験、ユニバーサルデザイン用具の体験を通して、今まで気づかなかったような経験をすることで福祉への理解を深めました。

主な内容

- 手話体験** 手話サークルグループの指導により、手話であいさつと自己紹介をしました。
- 車椅子体験** 車いすに乗り、自分で操作し坂道や段差を上がったたり介助のやり方を習いました。
- アイマスク体験** 目隠しの状態で介助を受けながら、段差の上り下りや手洗いを体験しました。



手話体験参加者 Hさん(小学生)
名前の手話が漢字を意味したり
動作の成り立ちであることがわ
かりました。



アイマスク体験参加者 Yさんより
全く見えないと怖かったです。目
の不自由なことが身にしみてわか
り、介助者の大変さと、サポートの
仕方によっては安心できることも
わかりました。



車椅子体験参加者 Tさんより
自分で操作してみると、少しの段差
でも通れないことや、腕の力もいる
ことがわかりました。

ミニ講演・検定試験 鳥取大学講師による福祉に関するミニ講演とクイズ形式による問題(初級・中級・上級)に各自がチャレンジしました。

ユニバーサルデザイン用具の体験 年齢や性別、障がいの有無に関わらず、すべての人にとって使いやすい用具です。



参加賞協力事業所一覧 (順不同、敬称略)

- | | |
|--------------|---------------|
| 赤碕ダイハツ(有) | 足立水道設備(有) |
| 生田電機店 | (有)伊藤清掃 |
| 馬野建設(株) | 宇田川呉服店(有) |
| (有)おき米店 | 協同警備保障(株) |
| 三和商事(株)東伯営業所 | すみれ飲食店 |
| 田中米店 | 東伯ガス産業(株) |
| 鳥取東伯ミート(株) | はな・はな工房 |
| ふじもと(有) | 山本おたふく堂(有) |
| 米久東伯(株) | 山陰合同銀行(株)東伯支店 |